

跡倉のフェンスター（地窓）

Fenster at Atokura

地球の窓探索コース



私たちの立っている道路面は、大崩山からつく跡倉層（8千数百万年前の白亜紀後期）の砂岩ですが、前の青倉川の川底は緑色片岩です。川底においてみると、水平の断層面を境に、両者が接しているのが見られます。緑色片岩には、押しつぶされてきた細かい割れ目がいっぱいできています。これは根なし山をつくっている岩体が、地殻変動で緑色片岩の上をずり動いてきたときのきずあいです。

この断層は、下流の跡倉橋あたりまでつづき、兩岸の崖で何ヶ所か観察できます。それを地図に書きこんでみると、青倉川により跡倉層がけずりとられ、下にある緑色片岩が川底だけに見えることがわかります。まるで地面に細長い窓が開けられ、地下が見えるようなので、この構造をフェンスター（ドイツ語で「窓」の意味）または地窓といいます。



地窓のできたかた



左岸の断層のようす



右岸の断層のようす

下仁田町 Shimonita-machi

No.03

作品番号：46601411

作品タイトル：下仁田ジオパーク 跡倉のフェンスター（地窓） 看板

作家：

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：群馬県 下仁田町

撮影年月日：2018/5/1

学術名：

クレジット表記：(c)OPO / Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：5106px × 3408px

印刷サイズ：43.2cm × 28.9cm

データサイズ：12.1MByte

ファイル形式：JPEG